大高同窓会報

発　行
千葉県立大多喜高等学校同窓会
千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481
〒298−0216　TEL 0470−82−2621
学　校HP　https://cms2.chiba-c.ed.jp/otaki-h/
同窓会HP　https://dousoukai.site/otaki-h/
E-mail　otaki-h@chiba-c.ed.jp
印刷　㈱サラト
姫路市北条宮の町172番地
TEL 079-284-1380



会長就任のご挨拶

同窓会長　田中　憲一（昭61高）

このたび、伝統ある同窓会の会長という大役を拝命いたしました。身に余る光栄であると同時に、その責任の重さに身の引き締まる思いでおります。微力ではございますが、母校と同窓会のさらなる発展のため、誠心誠意努めてまいる所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私たちの母校である大多喜高等学校は、長い歴史と伝統を有し、地域社会とともに歩みながら、学問のみならず、人としての在り方や郷土を思う心を育んでくれた学び舎であり、その教えは卒業後の人生においても、私たち一人ひとりの礎となっていることと思います。

当地域は、豊かな自然と歴史に恵まれた土地であり、その風土の中で大多喜高等学校もまた、多くの地域の皆様に支えられながら歩みを重ねてまいりました。地域に根ざした学校として、長年にわたり多くの人材を育成し、卒業生たちはそれぞれの立場で社会や地域の発展に貢献しております。私たち卒業生にとっても、母校は単なる学び舎ではなく、故郷そのものを象徴する存在であり、その誇りや愛着は今も変わることのない大切な財産であると感じております。

そして何より、これからの時代を担う在校生や若い卒業生の皆さんには、それぞれの夢や目標に向かって挑戦を続けていただきたいと願っております。同窓会としても、後輩たちが母校に誇りを持ち、希望を胸に歩んでいけるよう、できる限りの支援と応援を続けてまいりたいと存じます。

振り返れば、在学当時の校舎や教室、部活動に励んだ日々、恩師や友人との語らいなど、今なお鮮明に思い出されます。時代は移り変わり、社会の価値観や生活様式も大きく変化しましたが、青春時代を過ごした母校での経験は、年月を経ても色あせることなく、私たちの心の支えとなっています。卒業後、それぞれ異なる道を歩みながらも、母校という共通の原点があることで再びつながり合えることは、大変意義深いことであります。

現在、少子化や地域社会の変化により、多くの学校がさまざまな課題に直面しております。本校においても例外ではなく、教育環境を取り巻く状況は年々変化しております。しかし、そのような時代だからこそ、卒業生同士の結びつきをより強固なものとし、母校を支える力を結集していくことが、これまで以上に重要になっていると感じております。同窓会には、長年にわたり築かれてきた人的ネットワークと経験の蓄積があります。それらを次世代へとつなぎ、在校生や若い卒業生にとっても魅力ある組織として発展させていくことが、私たちの使命であると考えております。

また、同窓会活動を通じて、会員相互の親睦を深めることはもちろん、母校への支援や地域社会との連携にも積極的に取り組んでまいりたいと存じます。世代や立場を超えて交流できる機会を広げ、多くの会員の皆様に「参加してよかった」「母校とのつながりを感じられる」と思っていただけるような同窓会づくりを目指してまいります。そのためには、役員だけでなく、会員の皆様のお力添えが不可欠です。ぜひ忌憚のないご意見、ご提案をお寄せいただき、ともに同窓会を盛り立てていただければ幸いに存じます。

人生百年時代と言われる今日、私たちの世代には、これまでの歩みの中で培った経験や知見を次代へとつないでいく役割が求められているように感じております。私自身も、母校への感謝と恩返しの思いを胸に、同窓会活動を通じて、地域や後輩たちの力となれるよう微力を尽くしてまいりたいと存じます。

結びに、母校 千葉県立大多喜高等学校のさらなる発展と、同窓生並びに関係者の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。今後とも同窓会活動への変わらぬご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。



「地域創生リーダー育成」の一端「教員基礎コース」紹介について

校長　福田　茂博（昭59高）

同窓会の皆様には、本校の教育活動にご理解とご支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。学校では、「地域創生リーダー育成」を旗印に社会に貢献できる人材の輩出をめざした取組を全職員一丸となり展開しています。「教員基礎コース」はその一つであり、設置から３年目を経た本年は、過去最多の71名（全体の17％）が履修し、放課後や学期末の特別日課等を使い、年間1,750分相当（50分×35週分）の枠の中で、教育職に就くために必要な基礎的素地を培うカリキュラムを展開しています。

学習内容は、本校卒業生による現職教員を講師とする授業づくり講座や連携大学から派遣された教師陣の教職講座を受講します。また、認定こども園、小学校、中学校、県立特別支援学校での実習もあり、理論を学ぶ段階から実践を想定した体験学習等、学ぶ内容は多岐に渡ります。

開設初年度（令和６年）の生徒成果発表会では、愛媛県教育委員会の視察を受け、本県モデル校の事例として他県に紹介されました。昨年度の成果発表会では、本県教育委員５名参観の中、教員の働き方改革に対する生徒からの提言について、委員の一人、教育長職務代理者・貞廣斎子千葉大副学長との質疑応答へと発展しました。教育研究者でもある同委員は、高校生の視点に立った提言に非常に関心をお持ちになった模様で、生徒たちとの濃厚なディスカッションと繋がった次第です。このように通常の修学にとどまらず、教員基礎コースで自らが主体的に学ぶことに付随する生徒の変容振りには、目を見張るものがあります。関わる者としてとても嬉しい限りです。

県下７校に開設された同コースにおいて、本校は「大多喜高校魅力化コンソーシアム」を軸とする関係団体や県教育委員会、また卒業生等、各方面の協力を得ながら着実に深化しています。この成果が地域リーダー創出のみならず、昨今、低減している教職志願者数の課題に向け、大いに寄与できるものと期待できます。

時代の趨勢を受け、教育は変革の潮目を迎えています。本校では生徒一人ひとりにデジタル機器を活用した領域横断型学習教材を導入し、各自が自身の学力に応じた学習目標値をAIにより求め、その向上の一助としています。今後、実用化が進む汎用型AIの教育機関への実装化となれば、学校教育は180度変わり、生徒は端末機を通した次世代AIとの個別最適化学習に姿を変え、教師はこれまでの知識伝達者から「メンター」的役割【生徒の学習習慣の定着やモチベーションの維持、進路相談などをサポートする「助言者」や「伴走者」】に転換すると予測されています。そのような潮流において、この先、本校が果たす使命と役割に千思万考を重ねている処です。

母校は今 ～千葉県教育委員の視察訪問～

本校は、令和六年度から「教員基礎コース」が設置され、将来、教育職に就くための基礎的素地を身に付けるため、外部機関と連携した学びを展開しています。

今年一月に実施した成果発表会に於いて、本県教育委員五名の参観を受け、各委員から講評をいただきました。教育委員の視察目的には、学校現場の実態を把握し、教育行政の改善や視察校への指導・助言、学校運営の点検等の意味があります。

生徒の発表後、委員ひとり一人から、以下のコメントをいただきました。（一部抜粋）

A委員：異校種実習で学んだ児童に応じた寄り添い方や声掛けの必要性などの気づきを大切にして今後の学習に活かしてほしい。

B委員：各グループの発表を参観して高校生の教職に対する考え方が理解できた。学んだことをベースに、更に自らを高め精進してください。

C委員：このコースで学ぶ意義を実感した。将来、生徒をリスペクトできる教員になってほしい。

D委員：このコースが地域との協働により展開されていることがよく理解できた。伝統ある校風を絶やさぬよう皆さんで牽引し、地域の良きリーダーとなってください。

E委員：生徒のプレゼンから「教員基礎コース」は順調に軌道に乗っていると評価できる。特に教員の働き方改革は更に視野を広げた視点から考え、将来、現場で実践してほしい。

全県下に「教員基礎コース」開設校は七校あります。教育委員五名の同コースへの視察は、大多喜高校が初めてとのことです。県立高校改革推進プランとして教育委員会の肝いりで開設された同コースですが、年々受講者も増える中、委員からも運営において高い評価をいただきました。



教員基礎コースについて説明を受ける委員



寸劇による幼稚園実習の発表



ICT機器を活用した小学校実習の発表

主体的な生徒の取り組みについて

大多喜高校では「地域創生リーダーの育成」を教育の柱とし、多彩な取り組みを進めています。その象徴とも言えるのが生徒会活動です。生徒自らが学校行事を企画・運営することで、「社会参画への意識」や「課題解決力」といった、これからの時代に必要な非認知能力を実践的に育んでいます。ここでは、その顕著な取り組みについて２つご紹介いたします

① 生徒会活動　～いすみ鉄道対策委員会～

はじめまして！「大多喜高校生徒会」です！





一昨年の脱線事故により、現在運休中のいすみ鉄道ですが、生徒会組織「いすみ鉄道対策委員会」が中心となり、学校ホームページにおいて現在のいすみ鉄道の様子を発信しています。ホームページ内『千葉県立大多喜高等学校公式 note』（下記）に、大多喜高校生と深く関わりのあるいすみ鉄道について掲載しています。生徒の視点から復旧の進捗状況や社員さんの思いを随時発信していますので、是非、お手元の端末機でご覧ください。



② 生徒会活動　～「私服による登校日」～

令和６年６月の本県知事による「ちばダイバーシティ（多様性）宣言」を契機に、本校では生徒会が中心となり、多様性を尊重し合う学校づくりの推進を協議してまいりました。

その結果、互いの個性を認め合う機会として「私服登校日」を導入いたしました。この取り組みは、県内公立高校で初となる多様性への挑戦としてテレビニュースでも紹介され、導入から３年目を迎えた現在、地域にも浸透し、多くのご理解をいただいております。





「私服登校の日」（大高ダイバーシティ－デイ）“Daiko Diversity－Day”の開始について 月１回全校生徒による「私服登校の日」を実施します

経　緯：千葉県知事によるダイバーシティ（多様性）を重んじる社会づくり宣言を受け、本校においても多様性を尊重し、お互いの個性と能力を認め合うための取り組みを生徒会で協議した結果、「私服登校の日」を開始します。呼称を DD－Day「大高ダイバーシティ-デイ」“Daiko Diversity-Day”とし、「着衣する」という視点から、多様性を重んじる機会として推進していきます。

目　的：制服に代わる衣服を「着衣する」ことで、お互いの個性を尊重し、「多様性」の意味について熟考する機会とします。

形　態：毎月１回生徒会で指定した日を全校生徒による「私服登校の日」とします。ただし、装飾品や携行品等の着衣は校則に準じます。また、「私服登校」を強いるものではなく、通常の制服の登校でも構いません。

開始日：令和６年９月25日（水）
各月１回（実施日は前月に連絡します）

その他：実施後は、皆さんから意見を募り、生徒会評議会で協議し、必要に応じて改善していきます。



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん
「ちばダイバーシティ宣言」

活躍する卒業生

日蓮宗大本山池上本門寺第85世貫首　伊藤　海祐（かいゆう） さん 【昭50高】



伊藤海祐さん（S50卒）が日蓮聖人ご入滅の霊跡で知られる日蓮宗大本山池上本門寺の第85世貫首（かんじゅ）に就任しました。貫首とは日蓮宗の本山住職最高位を表す称号で、大本山池上本門寺を頂点とする本山、法縁関係のお寺を含めた500以上の寺院組織から成る事実上のトップです。

伊藤さんは勝浦市長勝寺の長男としてお生まれになり、昭和58年から平成31年まで池上本門寺に奉職し、現在、第85世貫首　伊藤日隆（いとう にちりゅう）と改名し、ご活躍されています。また、第79世貫首伊藤日定（いとう にちじょう）聖人は祖父にあたる方です。ご多忙の中、ご都合を縫っていただきお話しをお伺いしました。



山　門

問)：池上本門寺とはどのようなお寺なのですか。

伊藤貫首)：

池上本門寺は日蓮宗の開祖である日蓮聖人が入滅（亡くなった）した場所として知られる寺です。700年以上の歴史を誇る日蓮宗の大本山であり、関東最古の五重塔や、加藤清正が寄進したと言われる96段の石段「此経難持坂」（しきょうなんじざか）などの歴史的建造物や宝物殿もあり、学芸員も在籍しております。所在地の東京都大田区池上は地名にあるとおり、池上本門寺を中心とした「門前町」として発展してきました。

問)：これまでのご経歴を教えてください。

伊藤貫首)：

勝浦市松野にある長勝寺が実家です。高校卒業後、大学と大学院で仏教について学びました。卒業後の昭和58年、この本門寺に奉職しましたが、台東区元浅草・法泉寺の住職であった叔父が他界したため、平成６年に法泉寺の住職となりました。

問)：どのような高校時代をお過ごしされていましたか。

伊藤貫首)：

高校時代はバレーボール部に所属していました。中学時代からバレーボール部に入っていたので高校でも入りました。一番印象的だったのは、当時強かった卓球部が体育館を独占していましてね。中々良い結果の出ないバレー部は城跡にコートがありましてですね。（現在の大多喜城）そこで練習をしていました。高校の３年間は本当にバレーボール一辺倒でした。（聞き役が野球部と知り）野球部は１つ上に関さんというピッチャーがいて完全試合をしたのを記憶しています。同級生の野球部には、石田、太田、永野君らがいました。夏の大会では、我々も応援した記憶があります。残念ながら、バレーボール部は県大会に出られずに地元の大会で終わって仕舞いました。

問：）通学方法はどうでしたか。

伊藤貫首：）

小湊バスです。勝浦から大多喜行がありそれで通学していました。原付免許を取ってからは原付で通うこともありましたけど、大体がバスでしたね。

問：）記憶に残る先生はいますか。

伊藤貫首：）

今日のために高校の頃を一生懸命思い出したのですが。しかし、一人面白い先生がいました。１年生の時に国語で渡辺先生という人がいました。先生が居るのに、「今日は自習」って言ってね。ユニークな先生でした。


境　内

問：）同窓の方々に伝えたいメッセージがあればお願いします。

伊藤貫首：）

大学の仏教学科で仏教学、宗教学と修学しまして、そこでお坊さんの一歩を踏み出しました。

行学（ぎょうがく）と我々は言いますが、「行う」という字に「学ぶ」という字を書きまして、「行う」と「学ぶ」という、この二道、二つの道を教えられました。そこから早や50年経つわけですが、自分がどれ程の者なのかは分かりません。一つの見方としてこの大本山をお預かりするような立場になったという事がその道を全うしてきた事なのだという捉え方もできると思うのですが、その間、迷ったり悩んだり、色々な事がありました。これで本当に良いのかという事も沢山ありましたが、何かを信じて歩むという事が大事なのだと思います。しかしながら、私もまだまだ迷いの最中にあるのも事実です。この本門寺でも朝の朝勤（ちょうもん）というお勤めがあり、読経をあげるわけです。その時、礼盤（らいばん）という台の上に上がりますと、日蓮聖人像、お祖師様と目が遇うわけです。もう毎朝、反省しながら、今日もよろしくお願いしますという気持ちです。そこのところは自分に問うていかないとこれで良いということは無いと思っています。

とにかく信じて一生懸命やってみる先に答えが出るのであって、何もせず批評批判だけなら何も得るものがないと思います。それでもなお、まだ何かあるのではないかという疑念は消えることはないです。一生を終えて目を閉じる時に、自分もそこそこやったかなと思えれば、ベストなのかなと最近は思っています。歳を重ねるとともに考えも変わってきますが、お陰様で「この道」ということを自分に言い聞かせて自分なりに一生懸命やってきたことが今ある自分なのかなと思います。しかしだからといって迷いが全く消えたわけじゃありません。日蓮聖人が亡くなられて、750年という節目の年を令和13年に迎えます。この本門寺もこれから大改修を控えております。今はそれらに向かってやっていく次第です。

聞き役）：貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。

※追記

池上本門寺は、700年以上続く名刹（めいさつ）であり、布教の殿堂として、その法灯を今も護り伝える様々な催事が日々、執り行われています。貫首として、教理的視点から真理を追求される伊藤さんのお姿は、敬服の至りであり、母校の誇りです。ご活躍を祈念いたします。

大多喜高校部活動大躍進

美術部　第49回全国高等学校総合文化祭19年連続出場！

美術・工芸部門　　３年Ａ組　君塚千陽さん





柔道部　関東大会出場！

令和８年度５月９、10日に行われた関東高等学校柔道大会千葉県予選に出場し、男子団体５位、女子団体５位の成績を収め大多喜高校史上初、男女同時に関東大会出場を決めました。





陸上競技部　関東選手権出場！

令和８年７月に行われた第79回千葉県陸上競技選手権大会に出場し、３年Ｄ組の杉森凛太郎選手が男子1500mで３着、男子800mで６着の成績を収め、関東選手権出場を決めました。





令和７年度進路状況報告

進路指導主事　齊藤　美香

令和７年度を振り返る

卒業生総数128名の進路決定状況としては、大学が全体の約52％、短大が約0.8％、専門学校が約34.4％、就職（含公務員）が約8.6％という割合になった。過去２年と比較すると、４年制大の割合（R6年度62.0％、R5年度59.5％）は、やや減少した。就職の割合（R6年度10%、R5年度7.2％）に大きな変化はない。

大学に関しては、学校推薦型（指定校推薦）での受験者の割合が増加傾向にあり（R4年度57.6％→R5年度60.6％→R6年度62.1％→R7年度73.1％）、確実に年内に合格したいという生徒が増えている。

国公立大学には、２名の合格者が出た。過去３年間と比較するとほぼ横ばいである。（R4年度２名、R5年度４名、R6年度１名※いずれも現役合格者数）。先ほども述べたが、指定校推薦受験者増により、チャレンジ精神をもって一般受験に臨む生徒が減少しているためである。

就職に関しては、例年どおりの求人数があり、３名が無事に内定を頂いた。また、公務員では複数の自治体に合格する生徒もいた。国家公務員の合格は３年連続である。大多喜町役場には本年度も採用して頂いた。

各自が進路実現に向けて継続的に努力をし、多くの生徒が希望進路を実現させた。生徒自身の粘り強さ、保護者のご支援、学年・担任団のきめ細やかな指導の賜であるといえる。

昨年度の進路指導の概要

・進路希望調査①〈全学年〉４月９日（水）
・進路説明会①〈３年〉４月16日（水）
・進路説明会①〈１年・２年〉４月23日（水）
・模試デジ説明会〈１・２年〉５月21日（水）
・進路説明会②〈３年〉６月４日（水）
・３年保護者進路説明会　６月６日（金）
・進路説明会③〈３年〉７月14日（月）
・公務員講座①　７月18日（金）〈全学年希望者〉
・夏期実力養成講座〈１・２・３年〉（７月22～26日）
・保護者進路講演会　７月30日（水）大多喜町中央公民館
〈講師〉平川健氏（株式会社ライセンスアカデミー専任講師）
〈演題〉「希望する進路を支えるために」
・進路説明会④〈３年〉９月１日（月）
・進路希望調査②〈全学年〉９月３日（水）
・３年共通テスト説明会①　９月３日（水）
・ＰＴＡ校外研修〈希望保護者〉10月８日（水）
東洋大学・東邦大学を視察。
・進路説明会②〈１年〉10月15日（水）
・進路説明会②〈２年〉10月29日（水）
・大学出張講義体験会〈１・２年〉11月７日（金）
・３年共通テスト説明会②　12月17日（水）
・職業ガイダンス〈１年〉　12月18日（木）
・分野別ガイダンス〈２年〉12月19日（金）
・公務員講座②〈１・２年希望者〉12月23日（火）
・進路講演会〈１・２年〉１月８日（木）本校体育館
〈講師〉平川健氏（株式会社ライセンスアカデミー専任講師）
〈演題〉「定期試験対策　誰もが実践できる究極の学習法」
・３年共通テスト説明会③　１月14日（水）
・令和７年度大学入学共通テスト
１月17日（土）・18日（日）（19日（月）自己採点）
・卒業生による進路報告会　３月17日（火）〈１・２年〉
【通年】各種模試、課外授業、ボランティア等

令和７年度卒業生主な進路実績

［４年制大学］（国公立・私大50音順）

埼玉大・千葉県立保健医療大・植草学園大・江戸川大・学習院大・神奈川大・鎌倉女子大・神田外語大・関東学院大・敬愛大・工学院大・國學院大・国士舘大・秀明大・淑徳大・城西国際大・創価大・千葉工業大・千葉商科大・中央大・帝京大・東海大・東京医療保健大・東京情報大・東京聖栄大・東京電機大・東京農業大・東都大・東邦大・二松學舎大・日本医療科学大・日本獣医生命科学大・文教大・法政大・武蔵大・明海大・目白大・立正大・麗澤大・和洋女子大

［短期大学］（50音順）

大妻女子短大

［専門学校］（順不同）

千葉市青葉看護専門・君津中央病院付属専門・千葉県立鶴舞看護専門・二葉看護学院・国際医療福祉専門・北原学院千葉歯科衛生専門・安房医療福祉専門・NATS日本自動車大学校・神田外語学院・専門学校国際理工カレッジ・専門学校ちば愛犬動物フラワー学園・千葉こども専門・千葉ビューティー＆ブライダル専門・千葉リゾート＆スポーツ専門・東洋理容美容専門・ジェイヘアメイク美容専門・日本外国語専門・日本デザイナー学院・ハッピー製菓調理専門・船橋情報ビジネス専門・東京動物専門・東京ベイカレッジ・東京ベルエポック美容専門・東京メディカル・スポーツ専門

［公務員・民間就職］（順不同）

大多喜町役場・いすみ市役所・国家公務員・千葉県警察・警視庁・千葉県庁・夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防・陸上自衛隊・沢井製薬株式会社・株式会社コメリ

令和７年度卒業生進路状況

	大学		短大		専門学校	就職		浪人・他	合計
	国公立	私立	国公立	私立		民間・自営	公務員		
男	1	36	0	0	15	3	5	3	63
女	1	29	0	1	29	0	3	2	65
計	2	65	0	1	44	3	8	5	128

令和6年度 同窓会決算報告書

【一般会計】

収入総額　4,132,684円
支出総額　1,671,381円
差引残額　2,461,303円（次年度へ繰越）

収入の部　単位：円

科　目	予算額	決算額	増減額	説　明
繰越金	2,277,083	2,277,083	0	前年度繰越金
入会金	600,000	600,000	0	5,000円×120名
賛助金	900,000	1,214,990	314,990	同窓会報発行賛助金
雑収入	15	40,611	40,596	預金利息、経友会寄付×２
計	3,777,098	4,132,684	355,586	

支出の部　単位：円

科　目	予算額	決算額	残　額	説　明
会議費	300,000	27,360	272,640	総会補助、役員会費
運営費	300,000	39,904	260,096	事務費、通信費、慶弔費
活動費	600,000	328,590	271,410	支部活動費
広報費	2,000,000	1,272,527	727,473	同窓会報発行代
学校支援費	150,000	3,000	147,000	書道部活動補助
予備費	427,098	0	427,098	
計	3,777,098	1,671,381	2,105,717	

監査報告書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。

令和７年８月８日

監　事　地引敬次　㊞

監　事　菰田稔　㊞

【特別会計】

収入総額　3,729,528円
支出総額　0円
差引残額　3,729,528円（次年度へ繰越）

収入の部　単位：円

科　目	予算額	決算額	増減額	説　明
繰越金	3,727,805	3,727,805	0	令和５年度繰越金
雑収入	1,723	1,723	0	預金利息
計	3,729,528	3,729,528	0	

支出の部　単位：円

科　目	予算額	決算額	残　額	説　明
繰出金	0	0	0	
予備費	3,729,528	0	3,729,528	
計	3,729,528	0	3,729,528	

監査報告書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。

令和７年８月８日

監　事　地引敬次　㊞

監　事　菰田稔　㊞

令和８年度 同窓会総会・懇親会のお知らせ

日時 **10月10日（土）** 午前11時00分～

場所 一宮シーサイドオーツカ

会費 10,000円

お問い合わせ、お申し込みは、

下記までお願い致します。

TEL 0470−82−2621

（大多喜高校内・同窓会事務局）

●異動連絡のお願い

住所等の異動の折には郵便はがきなどで同窓会事務局にご連絡ください。同窓会関係の郵便物が宛先不明で返送されますと会員名簿上での住所は空欄となります。同窓会事務局では少しでも正確な情報を把握しておきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

●原稿募集のお願い

同期会・クラス会・OB会等を開催されましたら、会報に掲載しますので、ご連絡をお願い致します。また、同窓会報の『同窓生の声』に寄稿いただける方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局へご連絡ください。

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481　TEL 0470-82-2621
千葉県立大多喜高等学校同窓会

●個人情報について

個人情報についてですが、同窓会員の情報は㈱サラトにて一括管理されています。これは、会報の発行や名簿作成のためです。それ以外の使用は一切行っておりませんのでご承知ください。

●役員名簿

役　職		氏　名	卒業年	卒業回
会　長		田中　憲一	（昭61高）	大高28
副会長		福山　悦男	（昭29高）	大高６
		近藤　万芳	（昭32高）	大高９
		太田　洋	（昭41高）	大高18
		中村美智子	（昭49女）	女高11
		太田　雅彦	（昭59高）	大高36
		戸坂　健一	（平７高）	大高47
監　事		花崎　喜好	（昭47高）	大高24
		菰田　稔	（昭45高）	大高22
顧　問		山口　登	（昭37高）	大高14
		猿田　寿男	（昭42高）	大高19
支部長	大多喜	渡辺八寿雄	（昭50高）	大高27
	茂原	渡辺　正統	（昭58高）	大高35
	女子高	中村美智子	（昭49女）	女高11
評議員	大原	青柳　英俊	（昭38高）	大高15
	勝浦	竹下　正男	（昭47高）	大高24
	岬	大谷　勝	（昭55高）	大高32
	御宿	渡辺　一義	（昭44高）	大高22

TOPICS 話題

令和8年度

本校の「総合的な探究の時間」の取組みやいすみ鉄道への支援活動、また、様々な大学との高大連携や令和６年度から本格的に開設された教員基礎コースの様子が新聞などに取り上げられました。新しい取組みも始まり、今後も積極的に取り組んで行きます。

平成27年度より会長を務められた猿田 寿男様がご勇退されました。11年もの長きにわたり、同窓会を支え、多大なご貢献をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

田中新会長を迎え、同窓会のさらなる発展と会員相互の親睦を深めるべく、役員一同、気持ちを新たに邁進してまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年度同窓会総会は、昨年に引き続き、「一宮シーサイドオーツカ」で開催いたします。当日は、大多喜駅前10：00出発で一宮駅経由のバスをご用意します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。